

生駒市ごみ減量市民会議は 燃えるごみの減量に 取り組んでいます！ No.3号

市民

事業者

行政

ごみ減量市民会議

(平成28年7月14日発足)

減量行動

みなさん
のご協力を
お願いします！

「ごみ半減プラン」に掲げる燃えるごみ半減の目標を達成するため、市民・事業者・行政の連携で活動します。

当面の目標として、「家庭系燃えるごみを平成30年度までに、平成25年度比で25%削減する」を掲げています。



ごみ減量市民会議の活動内容



1 市民意識の把握

対面を中心として、有料化後の市民の声を聞く。



2 懇談会の実施

各種団体との懇談会で市民の生の声を聞き、ごみ減量につなげる。



3 有料化の成果をPR

有料化による燃えるごみの削減量、コスト減、収益の用途をPRする。



4 生ごみの削減

- ・各生ごみ処理器のメリット・デメリットをPRし、生ごみ自家処理の普及を図る。
- ・生ごみ処理器利用者へのフォロー。
- ・生ごみの「水切り」推奨。
- ・食品ロス削減に取り組む。



5 キー口の普及

電気等を使わず土の中のバクテリアで、生ごみを分解するキー口を市民に対してPRする。



バクテリアdeキー口



6 資源ごみの分別

資源ごみを分別して出しやすいよう、正しくリサイクルされていることが分かるチラシ等でPRする。

生ごみの削減について

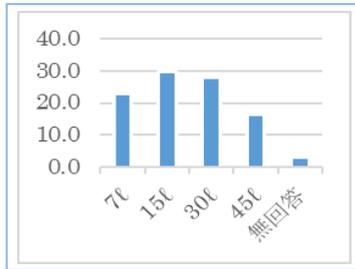
多く使われている指定ごみ袋のサイズ

全体では15ℓ、4人世帯では30ℓの指定ごみ袋でした。

「ごみ減量化に向けて」アンケート集計結果(平成28年9月実施分)
《質問》主に何リットルの指定袋を使っていますか。

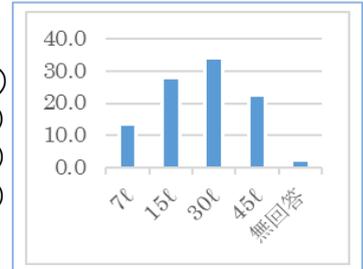
(全体)

① 7ℓ	269(22.8%)
② 15ℓ	353(29.9%)
③ 30ℓ	328(27.8%)
④ 45ℓ	194(16.4%)
⑤無回答	37(3.1%)



(4人世帯)

① 7ℓ	28(13.4%)
② 15ℓ	58(27.8%)
③ 30ℓ	71(34.0%)
④ 45ℓ	47(22.5%)
⑤無回答	5(2.4%)



生ごみを減らす取り組み

①生ごみ処理器による処理 《生ごみ処理器の一例》 ※補助制度があります。

機械式



特徴

- ◆毎月電気代がかかる。
- ◆乾燥させるタイプの場合、臭いや虫が発生しない。
- ◆処理物を有機質肥料として使えるものもある。

コンポスト



特徴

- ◆庭などにスペースがあれば経費も安く管理も簡単だが、臭いや虫の発生がある。
- ◆数か月おくと堆肥化される。

キエーロ



特徴

- ◆特別な菌や電気代等が不要で特別な維持費がかからない。
- ◆土の中のバクテリアが生ごみを分解するので、土の量が増えない。
- ◆臭いや虫の発生が少ない。

②エコクッキング



食物やエネルギーを無駄にせず、水を汚さないよう工夫したり、ごみを減らしたりして、環境に配慮しながら料理をつくること。

- 必要な量だけを買う、包装を断わってごみを少なくするような買物を心がける。
 - 旬のものを買う、皮や葉・残り物なども利用して料理を作る。
 - 食器や調理器具を洗う際には汚れをふき取るなどして水を汚さないようにする。
 - 米のとぎ汁は流しに捨てずに植木の肥料として利用する。
- などの取組みです。

生ごみ処理器「キエーロ」

神奈川県葉山町のキエーロ葉山さんが考案した生ごみ処理器です。

- 土の中のバクテリアを利用して生ごみを分解します。
- 特別な菌や電気代等が不要で特別な維持費がかかりません。

バクテリアdeキエーロ
※地面に直置きタイプ
〔底なし〕



ベランダdeキエーロ
※ベランダに置ける
〔底あり〕



プランターdeキエーロ
※プランターを利用した簡易タイプ
※生駒市で製作講座を実施しています。

